

(方法書 p. 84～85 に追加)

3.3 地象の状況

(5) 災害履歴等

「平成18年7月15日から19日にかけての長野県内の大雨に関する気象速報」(平成18年9月、長野地方気象台)によると、平成18年7月中旬後半から下旬にかけて梅雨前線の活動が活発化し、長野県では記録的な大雨となった。この大雨により、県内各地で土砂災害等が発生し、死者・行方不明者13名、重軽傷者20名を数えた。佐久市では、表2.3-4に示すとおり人的被害はなかったものの、一部地域において床上浸水及び床下浸水の被害が生じた。なお、この災害発生時における5日間の降雨量は267mmであった。

また、「佐久市地域防災計画」による過去の災害記録は表2.3-5に示すとおり、台風などの風水害が主な原因である。表中には、災害時における降雨量及び最大瞬間風速も併せて示した。

表2.3-4 災害発生状況

区分	全壊		半壊		一部破損		床上浸水		床下浸水		降水量 (mm)注1)	最大瞬間 風速 (m/s)注1)
	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家		
佐久市	—	—	—	—	—	—	1	—	24	—	267 (247)	— (9.3)

注1) 人的被害なし

注2) 降水量、最大瞬間風速の欄の上段は佐久地域気象観測所の値、下段は軽井沢特別地域気象観測所の値である。

注3) 降水量は7月15日から19日の5日間の合計値、最大瞬間風速は7月15日から19日の5日間の最高値である。

資料: 「平成18年7月15日から19日にかけての長野県内の大雨に関する気象速報」(平成18年9月、長野地方気象台)

「過去の気象データ検索」(気象庁ホームページ)

表2.3-5 過去の災害記録

年月日	原因	被害地域	被害状況									降水量 (mm)注1)	最大瞬間 風速 (m/s)注1)	
			被害 総額 (千円)	床上 浸水 (戸)	床下 浸水 (戸)	半 壊 (戸)	公共土 木関係 (箇所)	農業 関係 (箇所)	農作物 関係 (ha)	林道 関係 (箇所)	他 (箇所)			
H8. 7.19	水害 (雷雨)	小田井, 安原,上 平尾,横 根,大沢, 香坂東地	11,800	1	—	—	—	—	1	—	—	—	2.0 (36.0)	— (11.8)
H10. 9.16	風水害 (台風5 号)	市内 全域	416,564	3	57	—	25	119	133.5	23	8	130 (116.5)	— (16.3)	
H11. 8.14	水害 (熱帯低 気圧)	市内 全域	2,829,187	8	274	2	264	541	2.46	109	3	205 (174.5)	— (9.9)	
H12. 7.4	風水害 (突風)	市内 全域	5,070	—	—	43	—	8	—	6	—	30.0 (10.0)	— (5.6)	
H13. 9.10	風水害 (台風15 号)	市内 全域	775,982	1	35	—	125	243	1.47	70	—	136 (176.5)	— (17.7)	
H14. 8.4	集中 豪雨	市内 全域	5,738	2	21	—	9	24	—	—	—	75 (58.5)	— (7.9)	
H14. 10.1	風水害 (台風21 号)	市内 全域	—	—	—	—	6	1	—	13	—	87 (89)	— (18.1)	
H26. 2.14 ~2.15	雪害注2)	市内 全域	—	—	—	—	—	1,798	—	—	—	— (89.0)	11.5 (12.9)	

注1) 降水量、最大瞬間風速の欄の上段は佐久地域気象観測所の値、下段は軽井沢特別地域気象観測所の値である。

注2) 雪害時(H26.2.14~2.15)における軽井沢特別地域気象観測所での最深積雪量は、99cmであった。

資料: 「佐久市地域防災計画」(平成29年3月、佐久市)

「過去の気象データ検索」(気象庁ホームページ)